主催:協同組合フォーラム〜協同組合が活躍する場を広げるために〜 連続シンポジウム 第2回

グローバル化の中の共済の社会的役割

2007年の生協法改定は、生協の共済事業に対して、保険業法の準用を規定しました。保険業法は、保険業界の度重なる不祥事によって、規制強化の方向で改正されており、保険並の規制が自動的に共済に適用されてしまう構造は問題です。また、改正保険業法によって自主共済が禁止されたことも、もう一つの大きな問題です。共済についての法制度は、人と人とのたすけあいのしくみである共済の性格をふまえて、独自に検討されるべきです。

おりしも、TPP(環太平洋連携協定)への交渉参加問題が浮上しています。交渉分野のひとつに「金融サービス」があり、 共済へのさらなる規制を要求される恐れがあります。TPP問題に揺れる日本の共済の行方を知るうえで学ぶべき事例として、 今春発効した「韓米FTA(自由貿易協定)」問題があります。すでに、韓国ポスト保険(日本の簡保にあたる)や協同組合共済 への規制強化がはじまっています。グローバル化の中の共済に対する規制の動きを把握し、法制度を含め、共済のあり方と 社会的役割を考える一助として、シンポジウムを開催します。 *2012 国際協同組合年(IYC)実行委員会認定事業申請予定

●日程: 9月8日(土) 13:30~16:30

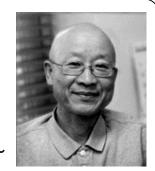
●会場: 浜松町フクラシア 会議室 A+B

東京都港区浜松町1-22-5 浜松町センタービル6階 TEL03-3533-7775 JR浜松町駅北口 徒歩1分、都営大江戸線大門駅 徒歩2分 (JR線路沿い・文化放送ビル隣)

●資料代:500円

<内容>

- ●主催者基調報告
- ●基調講演 「韓米 FTA と協同組合共済の展望(仮題)」 講師 パク・スンオク氏(韓国・ハンギョレドゥレ共済協同組合連合会 代表) 韓国における協同組合共済の現状と課題、韓米 FTA の共済への影響などについて、 研究と実践をふまえてお話しいただきます。
- ■「次期生協法見直しに向けた私たちの共同提案」へのコメント~共済の視点から~ コメント 松崎良氏(東日本国際大学)



パク・スンオク氏

生活クラブ連合会・消費者信用生協・グリーンコープ三者で日本生協連に提案した「共同提案」の内容について、共済研究者の立場からコメントいただきます。

●活動事例報告

反貧困たすけあいネットワーク 河添誠氏(反貧困たすけあいネットワーク代表運営委員) 日本勤労者山岳連盟 斉藤義孝氏(日本勤労者山岳連盟理事長)

●質疑応答

■協同組合フォーラム呼びかけ団体 グリーンコープ共同体、消費者信用生協、生活クラブ連合会

協同組合フォーラムでは、生協そして協同組合の社会的役割を発揮していくことをめざし、議論を深めていくための連続シンポジウムを、2012 年度に開催していきます。(第3回は福岡で2013年2月開催予定)



- *参加を希望される方は、事前にご予約をお願いいたします。(定員になり次第終了)
- *申込・問合せ先 生活クラブ連合会・企画部(前田・須永) TEL03-5285-1898 E-mail youko.sunaga@s-club.coop